

ESGとSDGs／インパクト投資

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2025.10.07

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



ESG/SDGsとは

ESGは、Environment(環境)、Social(社会問題)、Governance(統治改革)の頭文字をとったもので、人類社会が解こうとして未だに解くことのできていない基本的諸矛盾、即ち、生存環境の危機(環境)、絶えることのない武力衝突と不合理な差別と格差(社会問題)について、その解決に向けて産業界の経営者が果たすべき役割(統治改革)との関連において、投融資等の金融機能が適切に提供されるべきことを論じる視点のこと。

SDGsは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で、「人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒やし安全にする」ために、2015年9月25日に開催された第70回国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に示された17の目標と169のターゲットからなる諸目標のこと。

金融とESG/SDGs

金融は融資判断を行うため優越的地位に立ちやすいが、金融はあくまでも産業界の資金需要に応じて産業構造の発展に寄与する役割があるという点で、受動的である必要がある。金融の力によってESGやSDGsの観点から融資や投資行っていくのではなく、あくまで融資、投資判断として行う限りで許されるものである。

インパクトとは

資本主義経済が作り出す不均衡は、課税や補助等を通じた所得の再分配によって調整されてきましたが、伝統的な政府機能を通じた手法は、ガバナンスの欠如による非効率や国境を越えた不正には対応できない。そこで工夫されたのが、政府の機能に代わって、民間資本の活用により社会的インパクトを創出する仕組み。インパクト自体よりも結果として生まれる経済価値が重要だが、その価値は、民間経営の専門的知見と経験の導入等により、効率化が図られることから生まれる。

PPP (Public Private Partnership・パブリック・プライベート・パートナーシップ)

政府が民間企業と連携することにより、事業の運営権を民営に移転させ、公共サービスを提供する仕組みであり、民営化とは異なる方式となる。PPPの一種類であるPFI (Private Finance Initiative・プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)は、政府が民間に公共サービスの運営や経営を委託し、民間の資金やノウハウを活用する方法。各分野の民間専門家に委託することにより、運営の効率を改善することができる。

民営化と比較してPPP/PFI仕組みの優位性

- ①事業用の資産の所有形態:最終的な事業資産の所有者は公的部門となる。公的部門は将来的に、その事業の利用形態の転用等を行い、公有に戻す自由が確保される。
- ②利益の取り扱い:事業効率の改善により、社会的付加価値が創出され、その価値を民間事業者と公的部門で適正に配分する。民営化の形態と異なり、社会付加価値を大きくする他、社会的公正性をよりよく実現できることを目指す。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

E → Environment (環境)

S → Social (社会性)

G → Governance (企業統治)

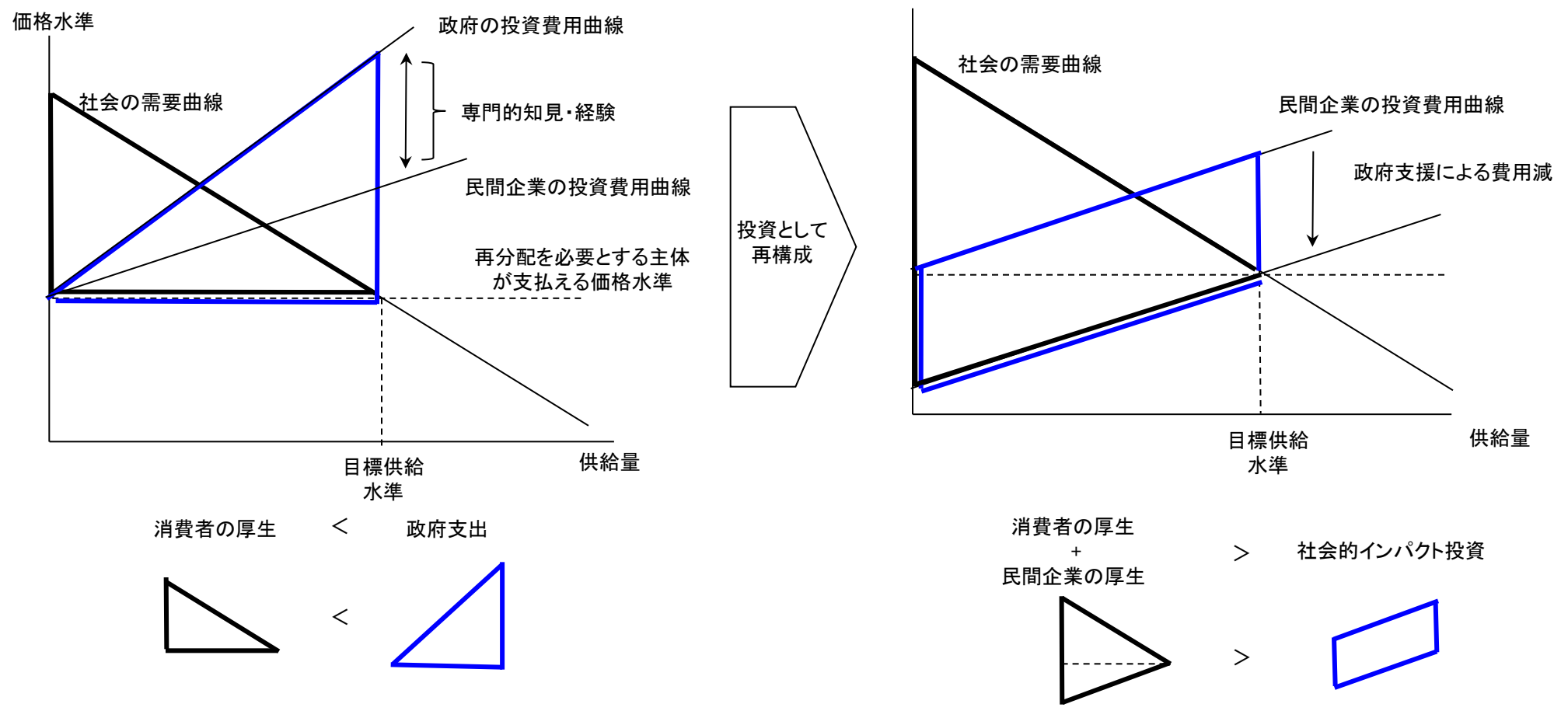
E・S・Gの基準に照らし、企業の持続可能性があるかを評価することが本質
⇒ 持続可能性が損なわれることはリスクであるにも関わらず、ESGをリターン源泉とみなす風潮
⇒ Environment (環境)に偏重した評価基準

ESG/SDGsの問題点

- ESG/SDGsが内包する欺瞞
⇒SDGsへの実質的な関与を欠いているにもかかわらず、広報宣伝効果を狙い、SDGsへの関与を積極的に公表する行為が広がっている。
⇒SDGsへの関与が企業の利益になるとしても、企業の行動は複雑な連鎖を経て長期的な利益につながるもの。SDGsに貢献するように見えるものが実は長期的には貢献せずに、単なる短期的な企業の利益になったり、逆にSDGsに反するように見えるものが実は長期的にはSDGsに貢献することもあり得る。
- ネーミングの問題
⇒「ESG」など、定量的な評価が難しい投資カテゴリーを名前に冠したファンドが増加していることを背景に、ESGやグリーンボンドという名称を付けるには一定の条件を設けるべきではないかという議論がある。
⇒例えば、海外では米国SECがファンド名称規則 (Names Rule) でルールを定めました。何を以て「ESG」を称しているかの評価には定性的な側面があり、現行のファンド名称規制に抵触するかの判断が難しいケースが存在するという問題がある。
- フィデューシャリー・デューティーとの関係
⇒フィデューシャリー・デューティーとは、専らに顧客の利益のためにベストをつくす義務であり、運用会社はフィデューシャリー・デューティーを徹底することが求められる。
⇒ESG投資では運用会社の銘柄選定において、ESGに背くような銘柄は排除されてしまうことが考えられるが、この点にフィデューシャリー・デューティーに背く事態となる可能性があるのではないかという問題がある。

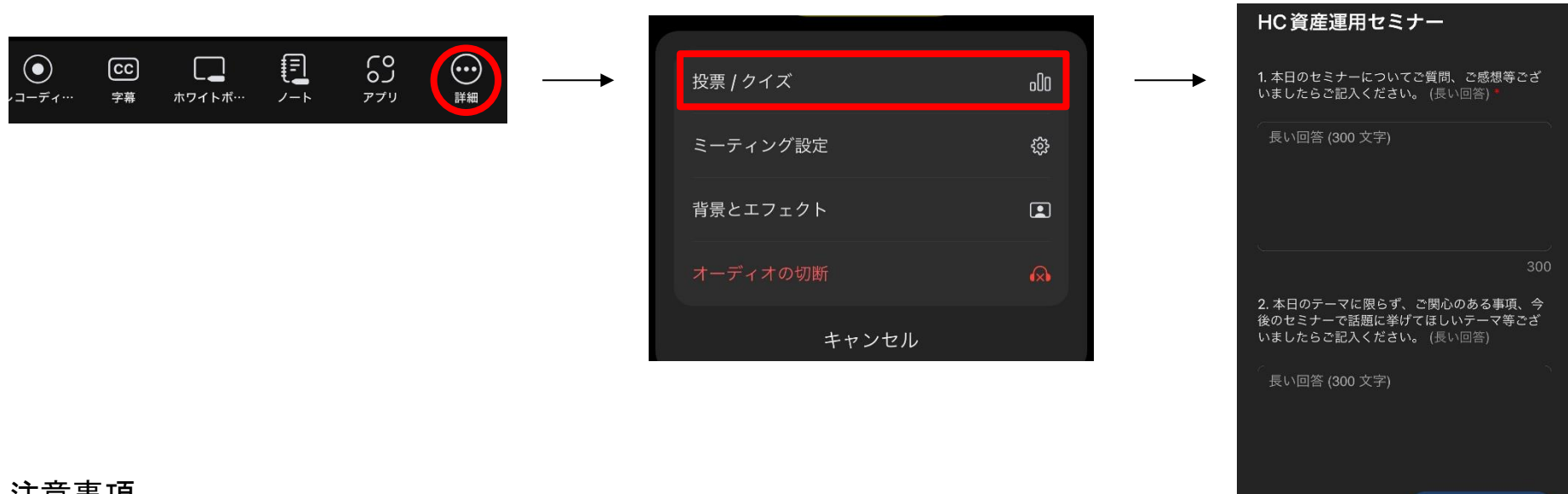
社会的インパクト投資

- ・ 経済における政府の介入は、非効率を招くという考えがあり得る一方で、市場原理による自浄作用だけでは非効率や不均衡の是正が困難な状況は訪れ得る
- ・ 市場の自律作用を補完する、例えば再分配のような、市場外部的な機能の供給者は、必ずしも政府である必要はなく、投資から創出される経済価値が十分に高いならば、民間の投資として経済的に構成することで、社会厚生を増加を図ることができる
- ・ 民間の投資として再構成するとき、政府支出に相当するものを社会的インパクト投資という



講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。